

第 60 回東京心エコー図研究会 幹事会 議事録

日 時 : 平成 28 年 11 月 19 日 (土) 13 : 00~13 : 30
場 所 : JR 東京総合病院 病棟 3 階 第三会議室
司 会 : 浅川 雅子 先生 (第 60 回当番幹事 JR 東京総合病院)
赤石 誠 先生 (代表幹事 東海大学医学部付属東京病院)

<議 題>

1) 第 59 回研究会の報告

- ① 第 59 回東京心エコー図研究会 世話人会議事録について
- ② 第 59 回東京心エコー図研究会 結果
第 59 回は医師=71 名 臨床検査技師他=206 名の計 277 名の参加。
- ③ 第 59 回東京心エコー図研究会 症例検討会 ベストイメージング投票結果報告
北里大学 循環器内科 前川恵美先生の「腰痛後に発熱をきたした僧帽弁輪石灰化の一例」ベストイメージングとして表彰。

2) 第 60 回研究会について

- ① 症例検討会
4 施設より演題を応募。発表施設はプログラムを参照。
- ② 症例検討会の抄録の扱い
例年通り、症例検討会後の休憩時の配布とする。
- ③ 症例検討会投票のご依頼
ベストイメージングの発表と表彰を特別講演の終了後に行う。
集計方法については、症例検討 4 題目終了後の休憩時間に回収ボックスを入口付近に配置。結果に関しましては、特別講演終了後に発表。
- ④ 特別講演
特別講演として、心臓血管研究所付属病院 心臓血管外科 部長 國原 孝 先生に「大動脈弁形成術における心エコーの役割」の演題にてご講演をいただく。

3) 次回以降の研究会に関する確認および決定事項

①第 61 回開催予定日の確認

当番幹事：新沼 廣幸先生（聖路加国際病院）
会場：JR 東京総合病院
日程：平成 29 年 5 月 20 日（土）

②第 62 回開催予定日の確認

当番幹事：馬原 啓太郎（マハラ ケイタロウ）先生（榊原記念病院）
会場：JR 東京総合病院
日程：平成 29 年 11 月 18 日（土）

4) 幹事会 検討事項

①第 63 回研究会 当番幹事・日程の報告

前回の幹事会で新たに会員に承認された下記先生の中から選出

鈴木健吾先生 1997 年卒
小坂橋俊美先生 1999 年卒
有田秀紀先生 2000 年卒
大野洋平先生 2002 年卒

⇒幹事会にて、卒年の順番から、鈴木健吾先生（聖マリアンナ大学）を第 63 回当番幹事に選出した。
日程は未定。

②JR 東京総合病院での開催について

今回、JR 東京総合病院の講堂にて研究会を開催。本研究会を JR 東京総合病院循環器内科の臨床研修の一環とすることで、**会場費が無料となる。会場が使用できる、のほうがかたしいと思います。完全に社外だけには貸してないような気がします。**
各種単位を必要としない病院 JR 東日本関係スタッフについては、参加費を無料とする。
次回以降の開催時には、病院規定により有料となる可能性が高い。
詳細分かり次第、浅川先生より連絡いただく。

③今後の研究会運営について

- ・研究会の開催案内について
日本心エコー図学会の H.P. (<http://www.jse.gr.jp/>) の「関連学会」のページに案内を掲載。案内状も 10 月の下旬に一斉配信を行った。
- ・東京心エコー図研究会ホームページ運営について
今後のホームページ管理費については協賛費にて運営。
アクテリオン、GE ヘルスケア・ジャパンから協賛を受けることとなった。

・学会単位申請について
日本超音波医学会にて専門医、検査士単位を承認。

・学会後援の報告
日本心エコー図学会の後援を受けることとなった。

④超音波血流研究会との統合の件

・超音波血流研究会の代表世話人である竹中 克先生より東京心エコー図研究会との統合の申し出があり、幹事会にて審議を行った結果、超音波血流研究会からの条件については以下の通りである。

1. 2017年1月1日をもって超音波血流研究会を東京心エコー図研究会に合併させていただくこと。
2. 下記の超音波血流研究会の役員を新たに東京心エコー図研究会の会員に加え、会員構成を医(M)、工(E)、技(T)のバランスがとれたものを目指し、三者の連携と切磋琢磨を推進していただくこと。常任幹事会のメンバー構成にもできるだけのご配慮をいただくこと。

顧問

伊東紘一 常陸大宮済生会病院名誉院長、陸前高田仮設診療所
菅原基晃 姫路獨協大学

世話人

里見元義 里見クリニック
椎名 毅 京都大学大学院
谷口信行 自治医科大学
仁木清美 東京都市大学
松村 誠 埼玉医科大学
遠田栄一 三井記念病院
戸出浩之 群馬県立心臓血管センター
種村 正 心臓血管研究所
小形幸代 自治医科大学
市田 勝 自治医科大学
石津智子 筑波大学
安 隆則 獨協医科大学

3. 開催内容に「血流研究」「流体力学」の要素を今まで以上に取り入れていただくこと。
4. 貴会ホームページに合併の経緯として上記三点を明記していただくこと。
5. 超音波血流研究会の口座残余金は東京心エコー図研究会の口座にすべて移行させていただくこと。
6. 登録した超音波血流研究会会員のメールアドレスはご本人の意思を確認した上で、東京心エコー図研究会のメーリングリストに統合すること。
7. 貴会のホームページに「超音波血流研究会」の開催記録一覧を掲載させていただくこと。なお、超音波血流研究会ホームページは合併後1年間だけ残り、2017年12月末を持って閉鎖する。

・超音波血流研究会との統合は承認されたが、諸条件については交渉することとし、

事前連絡会においては統合するという結果のみ連絡することとした。

主な審議内容は以下の通り。

⇒a) 幹事に検査技師（遠田栄一 三井記念病院）を加えるか検討する

b) 研究会開催内容に「血流研究」「流体力学」の要素を入れることについては、可能な範囲での努力目標とする。

c) 諸条件については最後の超音波血流研究会が12月3日に開催されるので、その時に交渉する。

5) その他

- ・東京心エコー図研究会参加証について、学会参加証に準じて開催日時が明記され、研究会印が押印されたものを発行することの確認がなされた。

以上